

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	県民活動総合センター
指定管理者	公益財団法人いきいき埼玉
評価対象年度	令和4年度
施設所管課	共助社会づくり課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	危機管理マニュアル等を備え、消防計画に基づき委託業者を含む全職員参加の避難訓練等を実施し、緊急の事態に備えていた。
	法令等の遵守	A	消防設備保守点検などの法定点検業務を適切に行っていた。
	平等利用の確保	A	許可手続は適切に行われていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	講座実施回数81講座の目標に対し、90講座を実施し目標を達成した。 コロナ禍の中、受講者数を制限するなどソーシャルディスタンスに配慮して講座を実施したほか、受講者満足度は93.6%と県民のニーズにも対応した。
	利用状況	A	施設利用者数419,000人の目標に対して、実績値は451,830人となり、目標を達成した。
	適切な管理の 履行	A	基本協定書及び年度協定書に基づき適切に管理を行っていた。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、出入口の自動検温器や消毒液の設置、窓口のパーテーションの設置、施設内の消毒や換気の徹底を行うなど、安心・安全な施設運営が図られていた。
	財産の適切な 管理	A	建物や設備の修繕は、利用者の利用状況を勘案し、修繕時期を設定して実施するなど、利用者を第一に考え適切に行われた。また、不要な備品を適宜処分するなど、適正に管理を行った。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	宿泊料金及び駐車場料金の支払について、電子マネー対応を進め、キャッシュレス化によるサービス向上を図った。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートでは、93.9%の方が、講座受講者アンケートでは93.6%の方が満足と回答しており、どちらも目標(90%)を上回る適正な状態である。
安定した経営 基盤	適正な財務状況の 確保	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、利用料金収入は84,159千円にとどまり、目標額の122,873千円を下回った。しかし、新たに各種検定試験での利用を誘致するなど、利用料金収入の確保に向けた努力が見られた。
総合評価		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業縮小を余儀なくされたが、利用者数回復への努力が見られたほか、感染拡大防止対策を徹底し、安心・安全な施設運営がなされた。

特記事項	特に評価すべき点	消毒液の設置やソーシャルディスタンス確保など、基本的な感染拡大防止対策を徹底しつつ、利用者の新規開拓やキャッシュレス化の推進など、利用促進に向けた工夫が見られた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなるなか、コロナ以前の水準を目指し、引き続き、施設利用者数、利用料金の目標が達成されるよう努められたい。